



体内逍遥 ちんたいせうぎょう 小説家、劇作家、英文學者、文學博士。大正六年五月二十一日、百八濃國生れ、昭和十年二月二十八日歿（八五—九五）。本名雄藏、幼名真藏。別號筆名おほろ隠居、せうとう、りぼりのちのみくら、ほろみや、ぶらぶら男、亡羊、亡羊子、仙堂野十、井崎野十、十四堂主人、坪内、坪内春のや、坪内臈、坪内生、雪中、大久保逍遥、大久保逍遥生、始終逍遥人、學友松屋主人、小羊、小羊子、小羊牧人、尾花や、尾花屋主人、尾花生、平十雄、改維散人、早稻田文學記者、春のや、春のやおぼろう、春のやおぼろう主人、春のやの臈、春のやの隠居、春のや主人、春のや主人臈、春のや生、春のや隠居、春のや隠居おぼろ、春の家おぼろ、春の屋、春の屋おぼろ、春の屋主人、春の屋臈、春の屋隱居、春の舍おぼろ、春の舍主人、春の舍臈、春の屋臈、春の舍於深江、春の舍全臈、臈、臈庵、臈月子、臈月庵、臈月庵主人、臈病、秘雙、沙石子、淨瑠璃生、漫遊生、英溪生、夢汀、夢汀近史、越後、行々子、迂雙逍遥、迂秘雙、近松研究會員、道、道生、逍遥主人、逍遥人、逍遥書屋、逍遥生、逍遥道人、逍遥遊人、鄭隈生、雄、雄藏、雙秘雙、雙秘舍のおぼろじ、馬骨人言の著者、黑雪散人、S. S. S. S. S. S. 生、T. Y. R. R. Yuzo Tsubouchi 等。明治十七年東京大學政治経済科卒。（二十三年東京專門學校文學科教授、翌年雜誌『早稲田文學』創刊主宰、二十九年文學協會主宰（大正））（注解）

昭和二十二年演劇博物館創設。
 譯著書、『沙と比阿作』、『談自由と刀餘波銃鋒』（本名、譯、明治十七年五月自版、東洋館書店）、『レリットン作』、『開卷悲憤概廿五傳』、『前』、『逍遙遊人名』、『譯、明治十七年

- 二月 成島國任 出版、「隨書堂發兌」、「雄辯大家辯實地源流筆記」。上巻「本名、合著、明治二十六年六月一日内山龜太郎編輯、東京進堂・鶴聲社」、「女子笑面書」、「話術新論」、「一名講談落語の論」、「春のや雁評註」、明治二十二年四月八日哲學書院、「中國小説」、「春の屋主人名、合著、明治二十二年七月二十日民友社」、「春道家漫筆」、明治二十四年九月十五日春陽堂、「雁との」、「春のやおぼろ名、明治二十五年七月東京雲堂」、「山羊漫言」、明治二十六年六月十九日有斐閣書房、「又學の」、「折々」、明治二十九年九月八日春陽堂、「梨園の落葉」、明治二十九年十一月二十六日春陽堂、「ふたひ」、「内題「ふたひ」とう」、「春の」、「主人名、義譯、明治二十年二月二十五日春陽堂」、「牧の方」、明治二十年五月四日春陽堂、「外傳體小説史」、「内題「世列傳體小説史」、「合著、明治二十年五月十四日春陽堂」、「契約と桐」、「春の」、「主人名、明治二十一年一月一日春陽堂」、「少年訓（第壹集）」、「本名、合著、山縣悌二郎編、明治二十二年八月十九日内外出版協會」、「江松之研究」、「綱島深川共編、明治二十二年十一月十五日春陽堂」、「英文學史」、「本名、明治二十四年六月一日東京專門學校出版部」、「又學叢書」、「又藝と教育」、明治二十五年六月四日春陽堂、「英詩又評釋」、「本名、明治二十五年六月二十八日東京專門學校出版部」、「又學叢書」、「國字改良論纂」、「同、合著、堀江秀雄纂、明治二十五年七月二十一日金港堂書籍株式會社」、「通俗倫理談」、「同、明治二十六年二月十一日高山房」、「新海島」、明治二十七年十一月八日早稻田大學出版部、「新曲蘇映姫」、明治二十八年十一月四日早稻田大學出版部、「男女學生氣質（附錄學生消夏法）」、「本名、合著」

・新小説論社―高島大圓編、明治二十九年二月二十九日（鶴聲堂書店）、

『睡王集』（合著・後藤・留外編、明治二十九年九月十九日春陽堂）、

『鉄の仙人』（伊藤青々園編）、明治四十年四月十日彩雲閣、 『又藝壇談』（明治

四十年五月十八日春陽堂）、 『倫理と文學』（明治四十一年十月五日

富山房）、 『新金毛狐』（明治四十一年十月十一日春陽堂）、 『作と

評論』（本名、明治四十一年五月二十八日早稲田大學出版部）、 『一

葉亭四迷（各方向より見たる長谷川辰之助君及其遺懷）』（内田魯庵

共編、明治四十一年八月一日易風社）、 Bernard Shaw 作 コウオーレン

夫人の職業』（譯、大正二年二月二十八日早稲田大學出版部）、 『武

器と人』（市川又彦共譯、大正二年五月二十五日早稲田大學出版部）、

『靈驗』（巖谷、大正四年一月二十一日金港堂書籍株式會社）、 『隨

天女―外四種』（大正四年四月二十日金港堂書籍株式會社）、 『ハンキ

ン作 可醜めびる女（附現代男）』（譯、大正四年七月十日廣文堂書

店）、 『沙翁作 コウケンズ』（譯、大正五年二月二十五日早稲田大學出

版部）、 『省字寫狐城落月』（大正五年十一月十五日春陽堂）、 『没

の行者』（大正六年五月五日女子文社）、 『實験桐一葉』（大正六年六

月十八日春陽堂）、 『坪内逍遙美辭名句集』（重文府編輯局編、大正

六年九月五日京橋堂）、 『内親美辭名句叢書』、 『名媛の星月夜』（大

正七年一月一日春陽堂）、 『逍遙劇談』（大正八年二月二十日大祐

社）、 『法難』（大正九年二月二十日實業之日本社）、 セント・シモン

・ハンキン作 可最後のぞ・ムラシ家』（譯、大正九年七月十八日廣文

堂書店）、 『熱海と五十名家』（本名、合著・齋藤利重編著、大正九

年十一月二十日靜岡・富永寛印刷、精利堂發賣）、 『それからそれ』

(大正十年二月十日實業之日本社)、
「わがページェント劇」(大正十年十一月十五日國本社)、
「沙翁傑作集」(譯、19 ココロオレーナス山 大正十一年十月十日、20 コシムベリン山 十一年六月三日、
「ウインツヤの湯氣は女房」十五年五月十五日早稻田大學出版部)、
「児童教育と演劇」(大正十二年四月十五日早稻田大學出版部)、
「バアナヤド・シヨオ其他」
「軍人禮讚」(市川又彦共譯、大正十二年七月十五日ヤルス・トヤルス・ホピエラヤ・ライブラリー)、
「版畫禮讚」(合著・稀畫複製會編、大正十四年三月十八日春陽堂)、
「少年の頃・上巻」(合著・小野誠悟編、大正十四年四月二十日第一出版協會「少年少女文學叢書」)、
「沙翁全集」(譯、24 コあらがひりゞき之内題「間違りゞき」大正十五年七月七日、25 コタイタス・アンドロニカス山 八月七日、26 コヤセンのタイモン山 十一月三日、28 コから騒ぎ山 昭和二年一月十八日、29 コトロイラスとクレシダ山 二月一日、30 コヘンリ山 五月三日、31 コ末よければ總ておし山 七月二日、32 コシキン山 九月二十三日、35 コヘンリー八世山 二年一月十八日早稻田大學出版部)、
「海外戯曲鑑賞讀本・卷壹―古典上編」(共譯・北山内董編、大正十五年十月二十五日新詩壇社)、
「コシエークスロヤ研究集」(昭和二年十一月二日早稻田大學出版部)、
「坪内逍遙集―後生樂」(昭和四年五月十日現代エウモヤ全集刊行會「現代エウモヤ全集」)、
「岩波文庫」(「新曲海鳥・新曲赫映姫」昭和四年五月二十五日、
「小説神髓」十一年七月十五日、
「當世書生氣質」十二年二月二十日、
「桐一葉・空皇爲狐放落月」十六年九月二日、
「渡の行者」十七年八月五日岩波書店)、
「良寛と子守その他」(昭和四年八月二十三日早稻田大學出版部)

田大學出版部)、『近代哲人傳その他』(昭和十二年二月十五日東京堂)、『歌舞伎畫藝話』(昭和十二年六月五日東京堂)、『春陽堂文

庫』(『桐』大いんてん、葉、一)、昭和七年六月十日、『吾年寫真披露月』七

月一日、『史劇論』(二十五日、『牧の方』八月十日、『名残の星月夜』

同日、『川説神髓』(二十五日、『表時の最期』九月十日春陽堂)、『シエ

ーナスピヤ作『オモロびつゞき』(譯)、『昭和七年八月十日春陽堂』(世

界名作文庫)、『秘の毒』(昭和八年七月五日中央公論社)、『阿

難と鬼十母』(昭和九年八月十四日書物展堂社)、『高井巖山著・朝倉

正平校『正家物語圖會』(鑑選)、『昭和十年十一月二十日富永興文堂)、『

シエーナスピヤ戯曲集』(ロシオとシエリエッタ) (譯)、『高只一註、

昭和十四年二月二十日富山房『富山房百科文庫』、『牧の方』(第

一作)、『改作』(合本) (昭和十五年十月二十七日改造社)、『改作文

庫』、『シエーナスピヤ名作選』(マックス) (譯)、『昭和二十二年十一月

月二十日中央公論社)、『川説神髓』(解題)、『神代種虎編、坪内逍遙補、昭和二十

四年二月五日東京堂)、『近代古曲文庫』、『兒童・青年劇集』(下巻)』

(昭和二十四年二月十五日富山書店)、『シエーナスピヤ全集』(譯)

昭和二十七年五月二十日創元社)、『此処やそこら』(そのほか)、『昭

和二十一年十一月一日早稲田大學(早大)文学会編刊)等。

文庫、薄田町雲錦著『逍遙』(半峰・春城)、『熱海漫談』(昭和四年十月二十日書

士書房、春陽堂發賣)、『村上瀧吉編』(坪内先生著譯初版本目錄)、『昭

和二十五年五月二十日村上文庫)、『逍遙』(坪内逍遙博士追悼会法覽會

記念)、『昭和十一年一月二十三日大阪・株式會社(三越大阪支店)、『阿

田竹繁後、越著『坪内逍遙』(昭和十四年五月二十八日富山房)、『坪内逍

遙研

遙資料 四 (第一集。昭和四十六年二月二十日、第二集。十一月二十五

日、第四集。四十八年七月二十日、第五集。四十九年五月二十日、第

七集。五十一年二月二十五日、第十集。五十六年十一月二十日、遙協

会誌刊、新樹社)、佐渡谷重信著『坪内逍遙—伝統主義者の構図』(研

和五十八年九月二十日明治書院「国文学研究叢書」)等。